

一般会計・特別会計・企業会計

| 区分 | 令和4年度当初 | 令和3年度当初 (肉付後) | 増減率 |
|---------|-------------|------------------|--------|
| 一般会計 | 331億2,084万円 | 337億6,783万円 | △ 1.9 |
| 特別会計 | | | |
| 国民健康保険 | 81億7,082万円 | 80億7,776万円 | 1.2 |
| 後期高齢者医療 | 10億 152万円 | 9億 358万円 | 10.8 |
| 介護保険 | 72億5,535万円 | 68億8,696万円 | 5.3 |
| 奨学金 | 1,221万円 | 1,649万円 | △ 26.0 |
| 企業会計 | | | |
| 水道事業 | 18億 411万円 | 19億1,697万円 | △ 5.9 |
| 下水道事業 | 23億7,356万円 | 27億4,839万円 | △ 13.6 |
| 市民病院事業 | 4億8,476万円 | 5億4,760万円 | △ 11.5 |
| 合計 | 542億2,317万円 | 548億6,558万円 | △ 1.2 |

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計金額です。

令和4年度 市の主な事業と予算

令和4年度に実施予定の主な事業と歳出予算について、「第2次宇城市総合計画」の6つのまちづくり基本目標に沿って紹介します。

1 「再生・発展する」まちづくり 生活基盤・社会基盤・産業基盤

- 本庁舎大規模改修事業費 (屋根、空調、照明改修工事費など) 1億5,250万円
- 新型コロナウイルス対策中小企業特別融資資金利子補給補助金 3,558万円

2 「育てる」まちづくり 学校教育・子育て支援

- 子ども・子育て支援事業費 28億7,559万円
- こども医療扶助費 1億5,460万円
- 不知火小学校建替事業費 (屋内運動場、プール改築工事費など) 4億1,280万円
- 松橋中学校建替事業費 (設計業務委託料など) 1億812万円
- 小川中学校建替事業費 (校舎、屋内運動場改築工事費など) 17億1,018万円
- 三角小・中学校スクールバス購入費 7,600万円

3 「住み続ける」まちづくり 生活環境・健康福祉・社会福祉

- 障害福祉サービス等給付費 17億3,242万円
- さしより野菜推進事業費 560万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種対策関連事業費 2億9,361万円

4 「持続する」まちづくり 産業経済・都市機能・行財政改革

- バス運行対策費補助金 1億3,976万円
- 国営緊急農地再編整備事業基金積立金 1億6,200万円
- 小川駅西口駐車場整備事業費 4,000万円
- 道路新設改良事業費 5億8,697万円

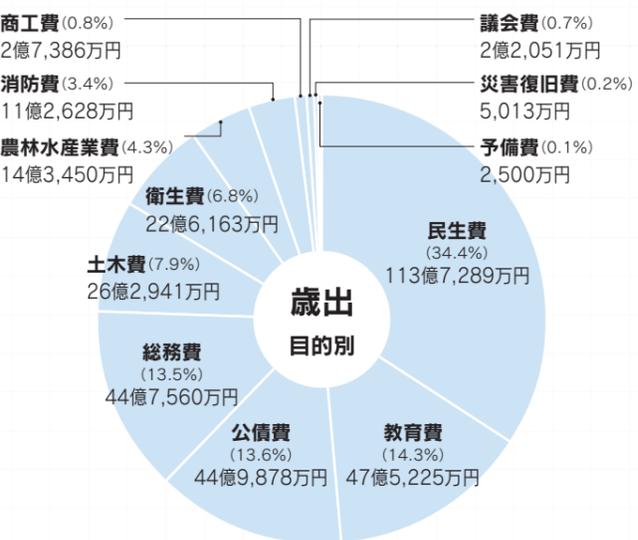
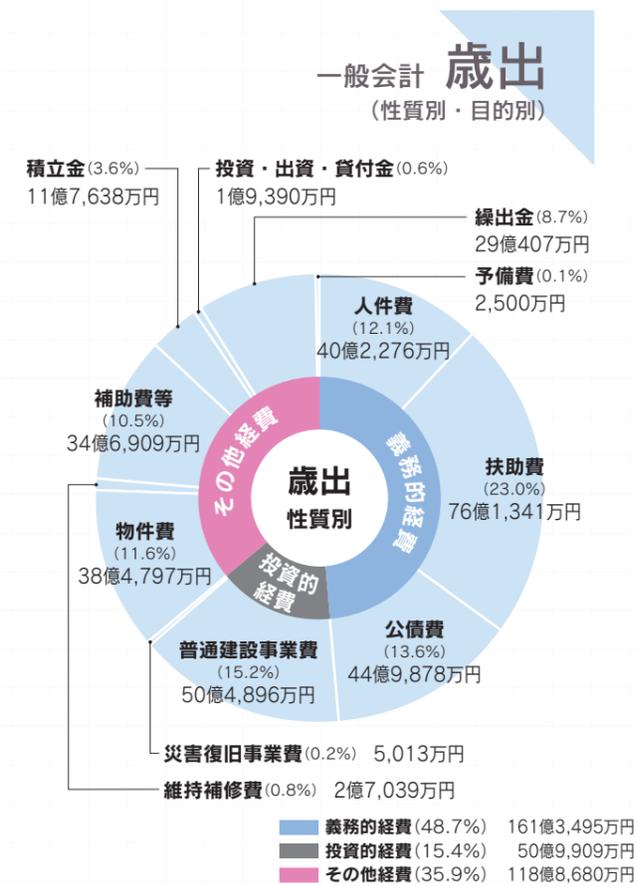
5 「選ばれる」まちづくり 観光物産・移住定住

- ふるさと納税事業費 6億円
- 企業誘致関係補助金 1億670万円
- ふるさと祭り実行委員会等補助金 1,646万円
- 結婚新生活支援事業補助金 900万円

6 「活躍する」まちづくり 雇用・男女共同参画・交流・文化スポーツ

- 松橋総合体育文化センター大規模改修事業費(外構工事費など) 1億2,240万円
- 図書館・美術館指定管理業務委託料 1億5,678万円
- 旧豊野小学校屋内運動場改修事業費(天井、トイレ改修工事費など) 8,050万円

事業の選択で健全な財政運営を
 限りある歳入財源の中で、選択と集中を念頭に置き、市の発展とさまざまな行政課題に可能な範囲で対応した予算となりました。
 市の財政状況は、健全な状態ですが、今後も、財源の確保と無駄のない予算執行に努め、将来世代に負担を先送りしないよう、健全な財政運営に取り組んでいきます。

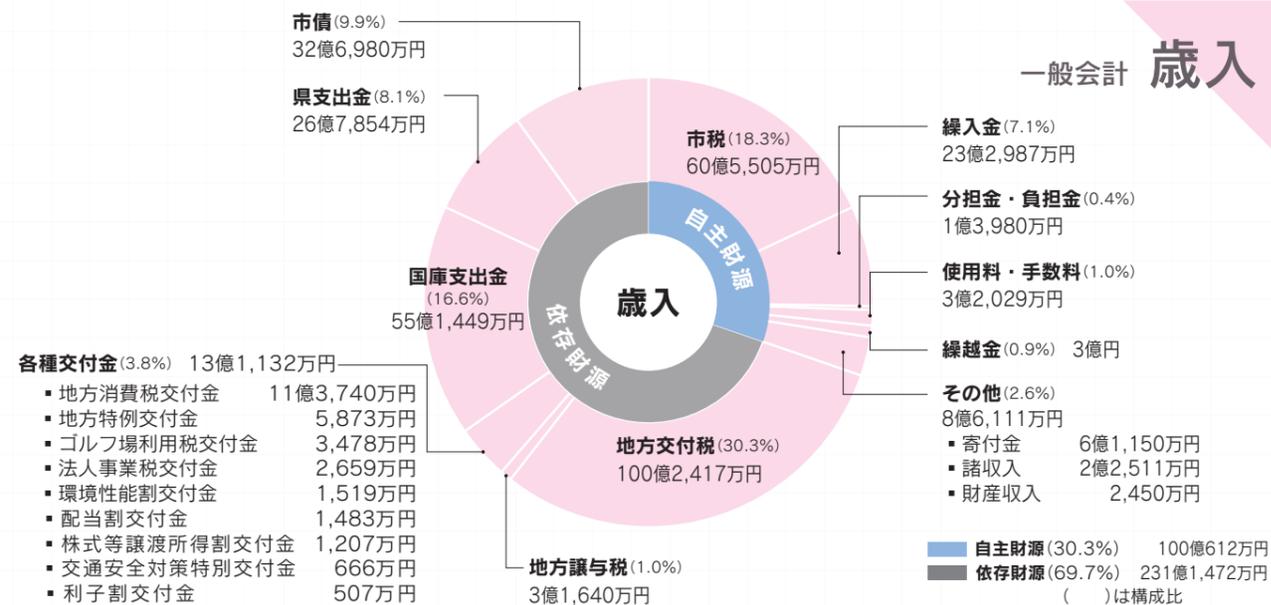


新型コロナウイルス拡大防止対策や老朽化した施設の更新整備、企業誘致対策など、多様な行財政需要に適切に対応するため、前年

令和4年度一般会計

331億2,084万円

前年度(肉付後)比較…6億4,699万円の減



歳出のポイント

性質別 人件費、扶助費、公債費で占める義務的経費が約161億円と全体の49%を占めています。

目的別 児童・障がい福祉などを構成する民生費が約114億円で最も多く、続いて小・中学校の建替事業を含む教育費が約48億円、市債(借金)の返済金である公債費が約45億円と上位を占めています。

歳出の状況

- 維持補修費 道路維持工事費などが減り、前年度比4億4,204万円の減額
- 扶助費 児童発達支援給付費や障害福祉サービス給付費などが増え、前年度比1億6,431万円の増額
- 公債費 災害復旧や防災のために借り入れた市債の返済などが増え、前年度比2億5,112万円の増額
- 普通建設事業費 中央図書館等中規模改修工事の完了や、本庁舎や松橋総合体育文化センターなどの大規模改修工事費が減ったことにより、前年度比8億4,934万円の減額

歳入のポイント

主なものは、「自主財源」の市税が約61億円、「依存財源」の地方交付税が約100億円、国庫・県支出金が約82億円、市債が約33億円。

自主財源は歳入全体の3割に留まり、国や県の動向に左右されやすい財政構造となっています。

歳入の状況

- 市税 新型コロナウイルス感染症の影響からの景気回復を見込んで、前年度比1億8,267万円の増額
- 地方交付税 普通交付税に算入される公債費が増えたことなどにより、前年度比8億7,119万円の増額
- 市債 普通建設事業費の減少などにより、市の新たな借金(市債)は前年度比14億2,250万円の減額
- 繰入金 歳入の不足が生じているため、市の貯金である財政調整基金を、15億2,056万円取り崩し、基金残高は77億6,010万円になる見込み